

2022年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	保育実習 I (施設)		教員氏名	久保小枝子/横川剛毅/星早織/前島麻衣/中安恒太/ 八代陽子/鈴木敏彦/坂井悠佳/井狩芳子/吉田久仁子/ 矢野由佳子
科目ナンバー	IV-9・10-1-2			
学年	1年		開講学期	後期
授業形態	実習		単位数	2単位
必修・選択	保育士必修		実務経験	—
テーマ	・保育現場での実践体験を通して、施設保育士の働きを学び、保育士を志す者としての自身の課題に向き合う。			
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。			○
カリキュラムポリシー	科目群 I 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する		○
	科目群 II 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う		
	科目群 III 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける		
	科目群 IV 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う		
授業の概要	・保育士資格取得にかかわる保育士課程必修の実習として、施設において観察・参加実習を行う。 ・施設での実習を通じて、利用者への理解を深めるとともに、施設の機能および施設職員の職務について実践的に学ぶ。			
授業の到達目標	(1)実習施設の一日の生活の流れや支援の内容を理解し、主体的に子ども(利用者)の生活にかかわる。 (2)実習施設における保育士等の子どもや利用者への支援内容を観察し、また支援に携わることにより、個別の子ども(利用者)についての理解を深める。 (3)実習施設が持つ機能や社会的役割について理解する。 (4)実習施設を利用している子ども(利用者)が抱える問題やニーズについて理解する。			
テキスト	『実習ルールブック』(和泉短期大学) 『事前・事後学習のポイントを理解！ 保育所・施設・幼稚園実習ステップブック』(みらい)			
参考書	『保育所保育指針』『保育所保育指針解説』(厚生労働省)『保育・福祉小六法』(みらい)			
ポートフォリオ	・実習指導授業内で示されたワークシートについて取り組みポートフォリオに綴じること。			
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする			○
	リアクションペーパーを用いて、授業内での疑問等を対話形式にて対応する			
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める			
	ICT(Google Classroom含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する			
その他:				
成績評価方法	区分	割合(%)	内容	
	定期試験	0	実施しない	
	授業内課題参加度出席態度等	100%	①実習登録手続きに関する状況 ②事前の書類(細菌検査・オリエンテーション報告書等)提出の状況 ③実習中の状況(巡回指導時の状況も含む) ④実習への出席状況 ⑤実習先からの実習評価 ⑥実習の記録(日誌)の提出、事後に必要な書類提出(欠席届等)の状況 ⑦実習の記録(日誌)の記述内容を総合的に評価する。	
その他		なし		